

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 |            |   |                             |  |            |
|----------|------------|---|-----------------------------|--|------------|
| 優先順位     | 項目番号       | 現状における問題点、課題  | 目標                          | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容   | 目標達成に要する期間 |
| 1        | 35<br>(13) | 今までは利用者自身の力で避難できていたが、ホームが移転した為にできなくなっている。今に適した避難方法を学び活かしていきたい。    | 利用者自身の力で安全なところに避難することができる   | 近くの高校が避難場所になっている為、散歩の折に利用者に場所を知ってもらおう。また、日々の会話の中で火災や災害について話題にし、どうしたらよいかを話し合い意識付けを行う。以前とは建物の造りも違う為、消防署に避難方法をアドバイス頂き、それに沿った訓練を行う。                      | 3 ヶ月       |
| 2        | 2<br>(2)   | ホームが移転し、買い物や散歩を通し、少しずつ地域への浸透をはかっているが、まだ理解が深まっているとはいえないため、交流を図りたい。 | 地域との交流をはかり、ホームに対する理解を深めてもらう | これまで行っていた買い物や散歩などをこれからも積極的に行い、より多くの地域の方に事業所を知ってもらおう。また、自治会の加入や民生委員からの情報を得、地域の行事へ積極的に参加していく。事業所が認知症介護の相談場所となれるよう同法人のデイサービスを介したり、運営推進会議などを利用しアピールしていく。 | 6 ヶ月       |
| 3        | 49<br>(18) | 散歩や喫茶店などには出かけているが、なかなか遠出をすることができないため、取り組んでいきたい。                   | 利用者の希望に沿って外出し、生活に楽しみを見出す    | 日々の会話の中で利用者の希望を把握しそれが実現できるよう他ホームとも協力し、外出の機会を増やしていく。また、ご家族の協力も得ながら一緒に外出する喜びを感じてもらえるよう支援していく。  | 6 ヶ月       |
| 4        |            |   |                             |  | ヶ月         |
| 5        |            |   |                             |  | ヶ月         |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。